

公表: 令和4年3月31日

事業所名 札幌運動支援友愛 I

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		※できるだけ活動スペースを広くとれるよう、棚などを端に設置している。	物の収納方法を考え、もっと活動スペースが確保できるようにしていきたい。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		シフトの調整や新規職員、ボランティアを募るなど、職員の数が増えるよう取り組んでいる。	工夫により、職員不足になることはないが、もっと充実した支援を行えるよう、継続して職員の募集等を行っていく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	冬季期間はこまめに雪かき、階段の砂まきをするなど、安全面に配慮するようにしている。	管理会社に設備の安全対策検討の連絡をしているが、改善することができなかった。安全管理のために改善できる方法をもう一度しっかりと考えていきたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		顧問の意見を聞ける機会が少なく、第三者による評価が難しい。定期的に顧問との関わりを持てるように改善していきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○					
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○					

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		役割分担をして行っている。立案したものは必ずミーティング時に職員全員で話し合い、意見交換を行っている。	役割分担により立案はスムーズに行えるようになった。立案者や他の職員と反省し改善点などを話す時間をもう少しとれるよう工夫していき
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日、休日で利用時間の変動や活動の変更はないため、随時保護者の要望を取り入れ、課題を設定している。今後も定期的にラインなどの連絡ツールで、要望を聞き課題の設定をしていきたい。	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	毎日お昼の時間に前日の振り返りと打ち合わせを行うよう工夫している。	支援終了後に打ち合わせをする時間がないため、ミーティングの時間で全体共有するなど、工夫している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				

関係機関

②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			まだそのような事例がないため、分からない。
②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			相談室や医療機関など、専門機関の利用がある利用者に関しては、情報共有や助言を受けている。
②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		コロナウイルス感染症の関係で行っていない。
②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		コロナウイルス感染症の関係で行っていない。
②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	特別行っていないが、送迎時や面談時に保護者の方から困り感など相談があれば、現場で試みている対応や成功例のある対応についてをアドバイスとして助言することがある。	今後、研修などを通して、様々な事例を知ったり、専門的な知識を身に付け、支援できるようにしていきたい。
③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナウイルス感染症の関係で行っていない。
③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
③5	個人情報に十分注意しているか	○				
③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		コロナウイルス感染症の関係で行っていない。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		必要とする利用者がいた場合を想定し、同意書や身体拘束について等の書類の準備や、話し合いをしている。	身体拘束を必要とする利用者がいないため、行っていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者から報告のあったアレルギーに関しては、台所に大きく張り紙をし、提供するものにアレルギーのものがいないかを確認してから子どもたちにおやつを配布するよう工夫している。	保護者からは利用開始時に報告を受けているが、医師からの指示書等をいただいていたため、今後アレルギーのある利用者に関して、指示書等を提出していただくよう改善していきたい。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○					

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。